

関西経済レポート(10月号)

- ➡ 8月の生産は一般機械を中心に増加
- ➡ 9月も輸出の伸びは引き続き加速、輸入も9カ月連続で上昇
- ➡ 9月の消費者マインドは消費増税前の駆け込み需要の影響等から改善
- ➡ 9月の大型小売店販売額は前年比プラス、9月の新設住宅着工は大幅に増加
- ➡ 9月の求人倍率と失業率、ともに改善傾向にある
- ➡ 8月の建設工事は堅調な増加も、9月の公共工事受注額は大幅に増加
- ➡ 中国第3四半期の実質GDP成長率は+7.8%、第2四半期より幾分回復

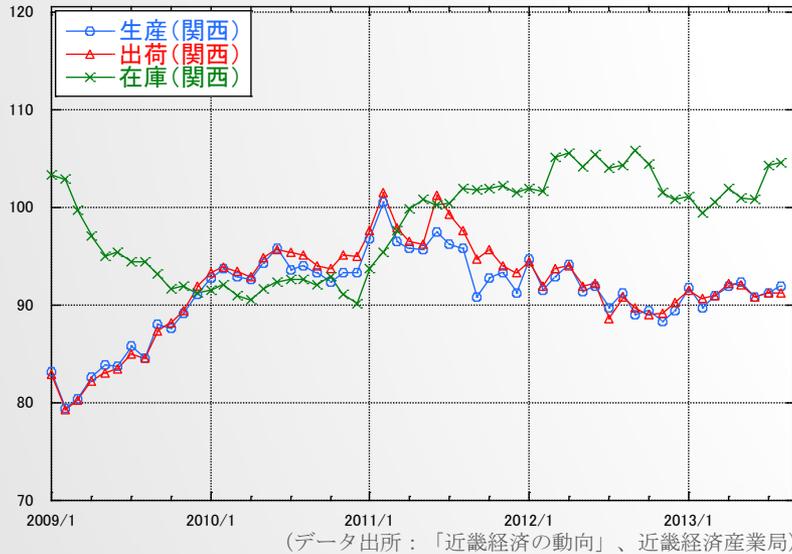
※「近畿」・「関西」は、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県。
鋳工業生産、大型小売店販売額のみ、福井を含む2府5県。

～目次～

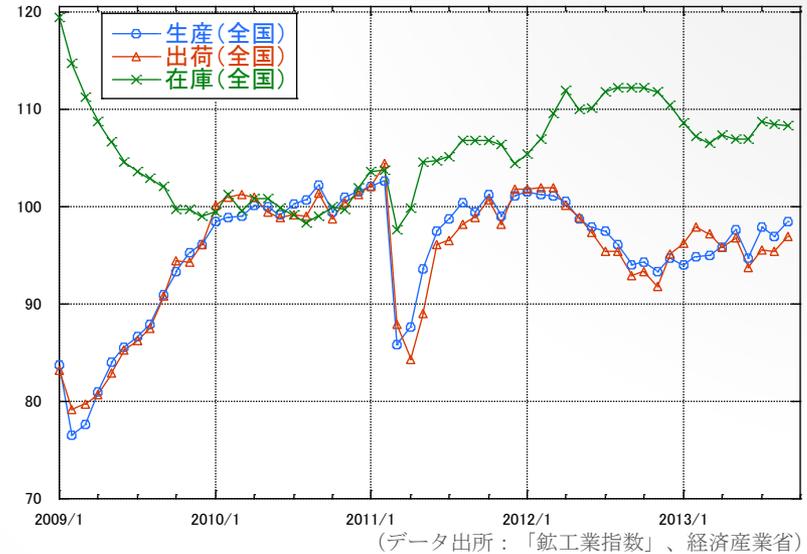
生産	1
輸出入	2
消費者センチメント	3
個人消費・住宅	4
雇用	5
公共投資	6
中国経済動向①	7
中国経済動向②	8

～生産～

鉱工業指数の推移(近畿・2013年8月まで), 2005年=100



鉱工業指数の推移(全国・2013年9月まで), 2010年=100

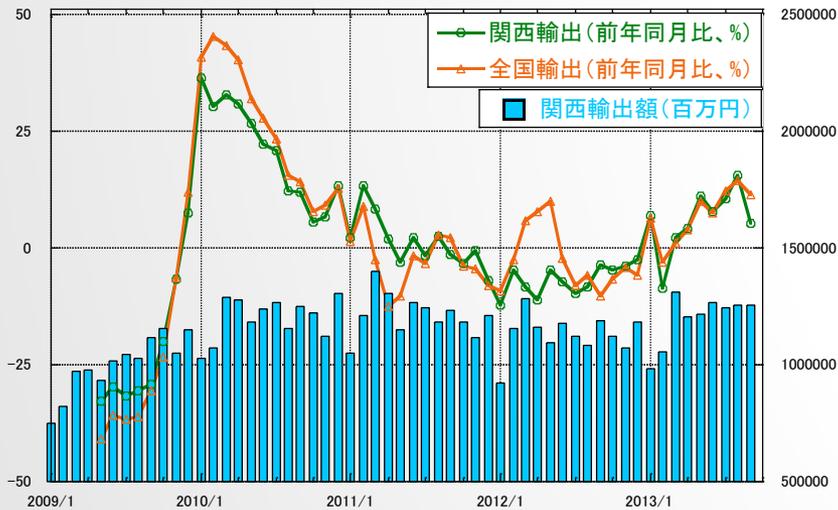


- 関西8月の鉱工業生産指数(確報値: 季節調整済)を見ると、生産は91.9で前月比+0.7%と2カ月連続の上昇。出荷は91.3で同+0.0%と横ばい、在庫は104.6で同+0.3%と、2カ月連続の上昇となっている。
- 業種別に生産指数をみると、一般機械、金属製品、その他工業等が上昇した。一方、化学(除. 医薬品)、電気機械、輸送機械(除. 鋼船・鉄道車両)等が低下した。
- 一般機械等の増産に伴い、生産は増加している。

- 全国における9月の鉱工業生産指数(速報値、季節調整済)は98.5となり前月比+1.5%で2カ月ぶりの上昇となった。出荷は97.0で同+1.6%と2カ月ぶりの上昇、在庫は108.3で同-0.2%と2カ月連続の減少であった。
- 業種別にみると、輸送機械、電子部品・デバイス、情報通信機械等が上昇した。一方、はん用・生産用・業務用機械、プラスチック製品、電気機械等が低下した。
- 10月の生産見込み(製造工業: 前月比+4.7%)は前月の生産予測調査結果(同+2.5%)から大きく上方修正された。これは9月の製造業生産計画(同+5.2%)の未達分を反映している可能性がある。なお、11月の生産計画は減産の見込み(同-1.2%)である。特に、電気機械、情報通信機械、はん用・生産用・業務用機械は前月の増産の反動減が大きく、注意が必要である。¹

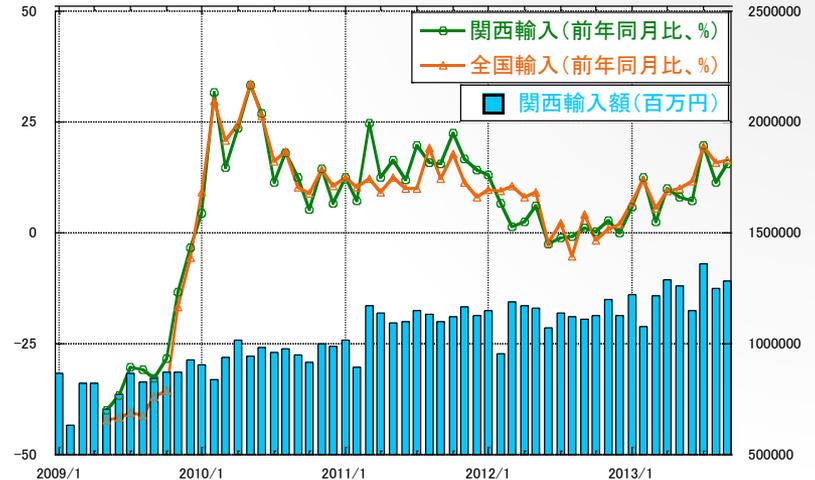
～輸出入～

輸出動向（右：輸出額、左：前年同月比）（2013年9月まで）



（データ出所：「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」（平成25年9月分（速報値））、大阪税関調査統計課）

輸入動向（右：輸出額、左：前年同月比）（2013年9月まで）



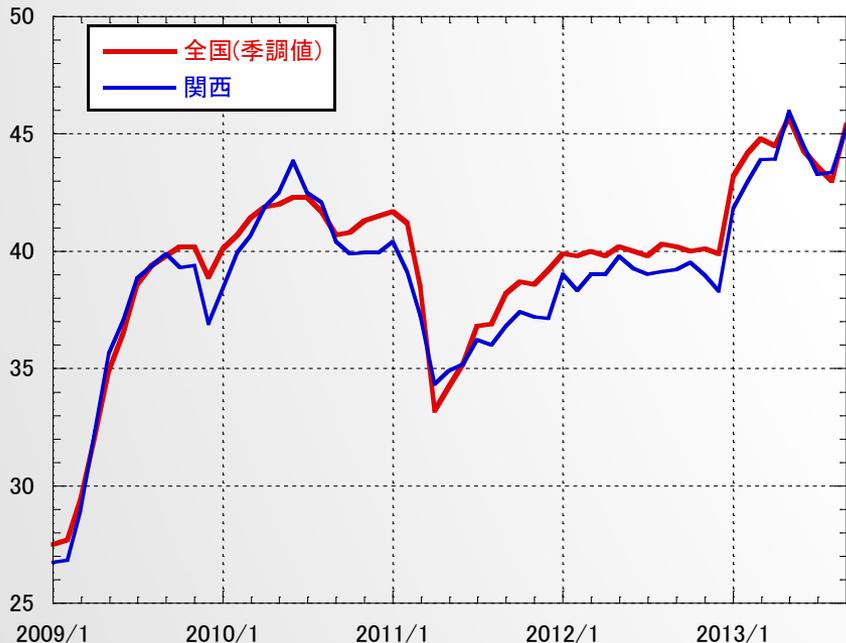
（データ出所：「財務省貿易統計」（平成25年9月分（速報値））、財務省）

- 関西における9月の輸出額（速報値）は1兆2,547億円、前年同月比+5.4%と7カ月連続の増加となった。
- 有機化合物、事務用機器、科学光学機器が増加。
- 全国の9月の輸出額（速報値）は5兆9,721億円、前年同月比+11.5%と7カ月連続の増加。足下の輸出の伸びは近畿、全国共に加速している。
- 関西の輸出を地域別にみると、アジア（前年同月比+6.0%、7カ月連続）、中国（同+10.4%、7カ月連続）、米国（同+1.5%、8カ月連続）、EU向け（同+4.1%、4カ月連続）輸出はいずれも増加を続けている。

- 関西における9月の輸入額（速報値）は1兆2,866億円、前年同月比+15.7%と9カ月連続の増加。
- 衣類及び同付属品、通信機、半導体等電子部品が大幅に増加。特に、衣類及び同付属品、半導体等電子部品の伸び率は過去最高額を記録した。
- 全国の9月の輸入額（速報値）は6兆9,043億円、前年同月比+16.5%と11カ月連続の増加。

～消費者センチメント～

消費者態度指数(原数値、2013年9月まで)



(出所)内閣府「消費動向調査」(平成25年10月10日公表)

- 関西の9月の消費者態度指数(原数値)は前月比+1.8ポイント上昇し45.2となった。2カ月連続のプラス。
- 同指数の構成項目をみると、「暮らし向き」が同+1.6ポイント、「収入の増え方」が同+0.9ポイントといずれも4カ月ぶりに上昇、「雇用環境」が同+3.6ポイント、また「耐久消費財の買い判断」が同+1.3ポイントといずれも2カ月連続で上昇。4項目全てが改善。
- 全国の9月の消費者態度指数(季節調整値)は45.4と同+2.4ポイントの改善。4カ月ぶりの上昇。
- 全国・関西ともしばらく調整局面が続いていたが、今月は大幅な改善となった。

景気ウォッチャー調査(2013年9月まで)

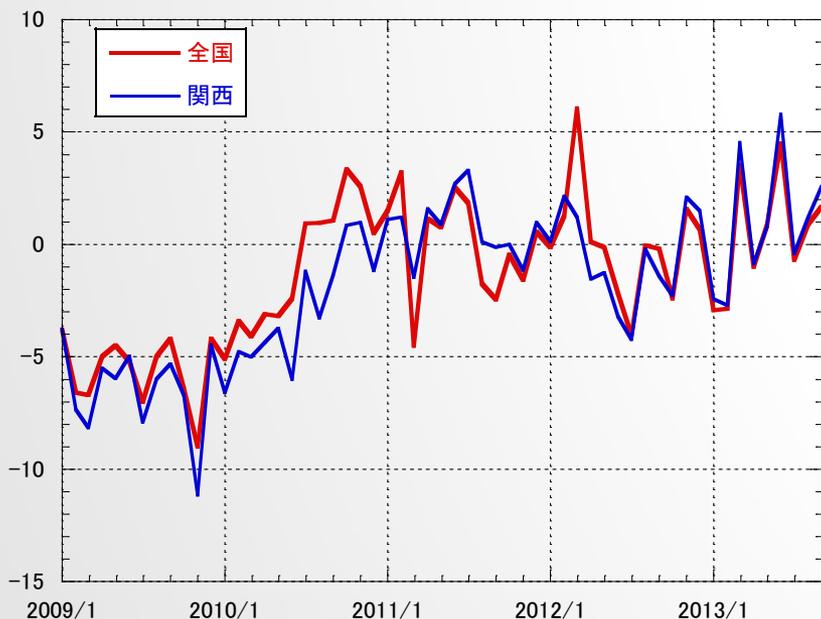


(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」(平成25年10月8日公表)

- 関西の9月の現状判断DIは前月比+3.2ポイントの54.6と、6カ月ぶりに上昇。
- 全国の現状DIも同+1.6ポイントの52.8と6カ月ぶりに上昇。
- 住宅や家電を中心に消費増税前の駆け込み需要の影響がみられる。
- 関西の先行き判断DIは同+3.6ポイントの55.9と、7カ月ぶりに上昇。
- 全国の先行き判断DIは同+3.0ポイントの54.2と、2カ月ぶりに上昇。
- 今後も消費増税に伴う駆け込み需要の動向に注視すべき。

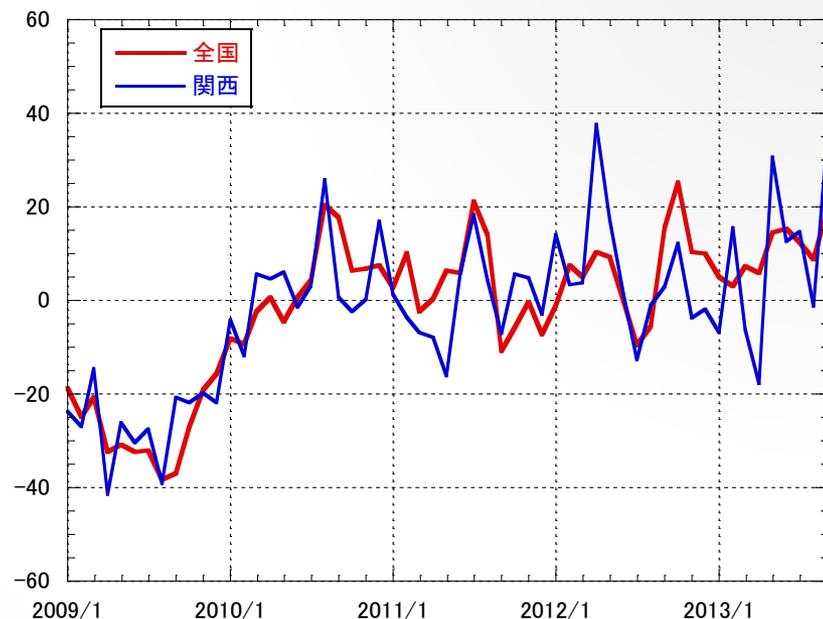
～個人消費・住宅～

大型小売店販売額(前年同月比:%、2013年9月まで)



(注)福井県を含む。(出所)近畿経済産業局

新設住宅着工(前年同月比:%、2013年9月まで)



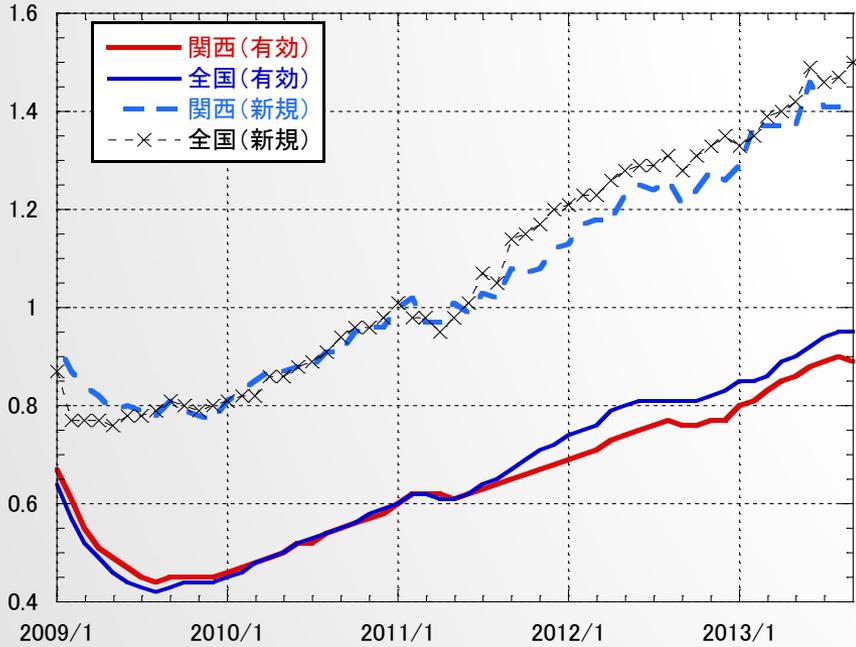
(出所): 国土交通省「住宅着工統計」

- 関西の9月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+2.6%と2カ月連続のプラス。
- 百貨店も同+5.1%と2カ月連続のプラス。
- なお全国でも、9月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+1.7%と2カ月連続のプラスとなっている。

- 9月の新設住宅着工戸数は13,606戸。前年同月比+35.2%と2カ月ぶりに大幅増加した。利用関係別にみると、持家は同+14.1%と8カ月連続の上昇、貸家が同+49.6%と3カ月連続、分譲が同+44.4%と2カ月ぶりの大幅上昇となった。また、全国の新設住宅着工戸数は同+19.4%と13カ月連続で上昇。
- 9月のマンション契約率(出所:不動産経済研究所「マンション市場動向」)は83.3%(季節調整値、APIR推計)。好不調の目安とされる70%を19カ月連続で上回っている。
- 8月は幾分停滞したものの、9月は引き続き消費増税による駆け込み需要・相続税制改正に伴う節税対策から、住宅市場は好調を維持している。

～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値、2013年9月まで）



（出所）厚生労働省(2013年10月29日公表)

完全失業率の推移（季節調整値：％、2013年9月まで）



（出所）総務省「労働調査」(2013年10月29日公表)

地域別有効求人倍率2013年9月

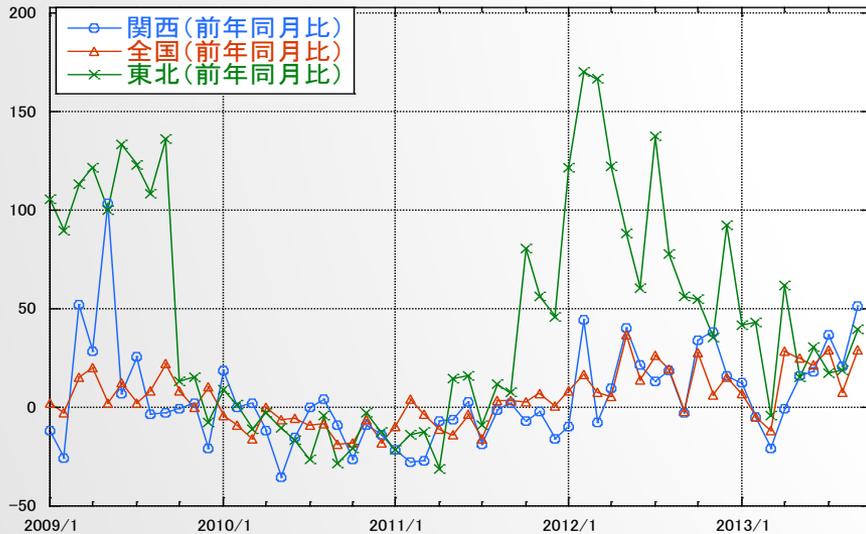
	全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
9月	0.95	0.78	1.00	0.99	0.88	1.11	1.16	0.89	1.09	1.01	0.78
8月	0.95	0.78	1.01	0.98	0.89	1.11	1.15	0.90	1.07	1.01	0.77

- 9月の関西の有効求人倍率は0.89倍、前月から0.01ポイント低下したものの、依然底堅い。
- 全国は0.95倍で、先月と横ばい。
- 9月の新規求人倍率は、関西は1.42倍と前月(1.41倍)よりやや上昇。全国は1.50倍と2カ月連続の改善。

- 9月の関西の完全失業率（季節調整値：APIR推計）は4.1%となり、前月から0.2%ポイントと2カ月ぶりに低下。
- 全国の完全失業率（季節調整値）は4.0%となり、前月から0.1ポイント低下。
- 関西の完全失業者数(季節調整値：APIR推計)は42.0万人。前月から3.5万人の減少となった。

～公共投資～

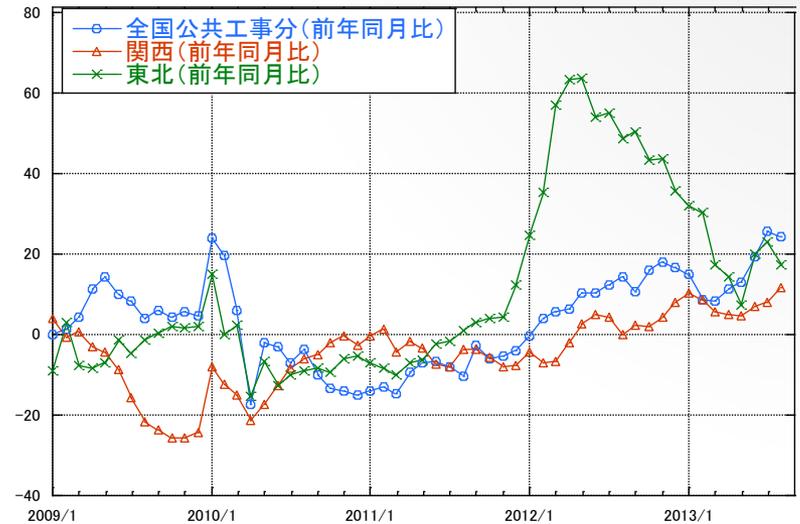
公共工事請負額(前年同月比:%、2013年9月まで)



(注) 福井県を含む。
(出所) 「公共工事前払金保証統計」(平成25年9月分)、東日本建設業保証株式会社

- 関西9月の公共工事請負額は1,675億円。前年同月比+51.4%と5カ月連続のプラスとなり、伸びは依然高水準。
- 全国は1兆5,235億円となり、同+29.4%。
- 東北は2,771億円と同+39.6%。いずれも6カ月連続のプラス。
- 季節調整値(APIR推計)で見ると、関西は2カ月ぶりのプラス(関西:+4.8%)、全国は2カ月連続のマイナス(全国:-2.1%)となった。関西の公共工事は好調を維持している。

建設工事(前年同月比:%、2013年8月まで)

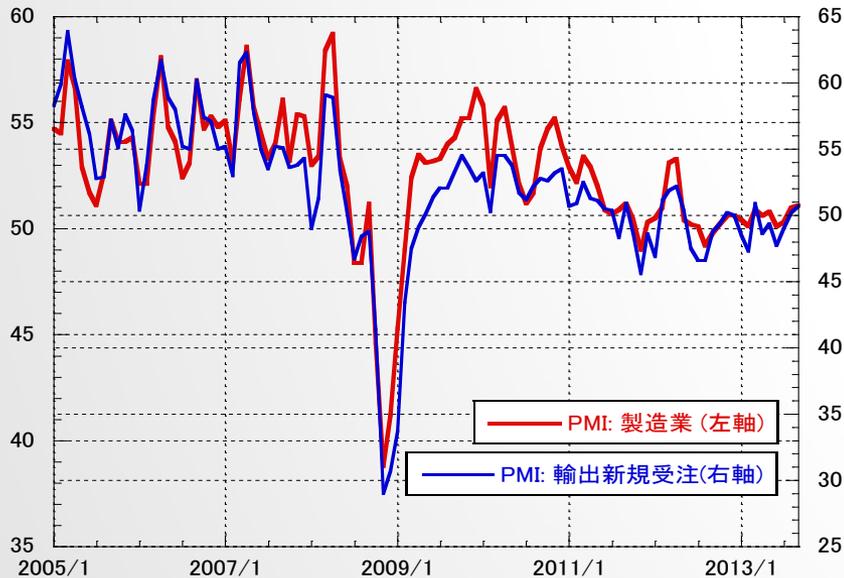


(出所) 国土交通省「建設総合統計」(平成25年8月分)

- 関西における8月の建設工事(民間+公共)は4,830億円。前年同月比+11.7%と16カ月連続のプラス。
- 東北は4,573億円と同+17.5%となった。25カ月連続のプラス。
- 同月の全国の建設工事(公共)は1兆5,673億円。同+24.3%と19カ月連続のプラス。

～中国経済動向①～

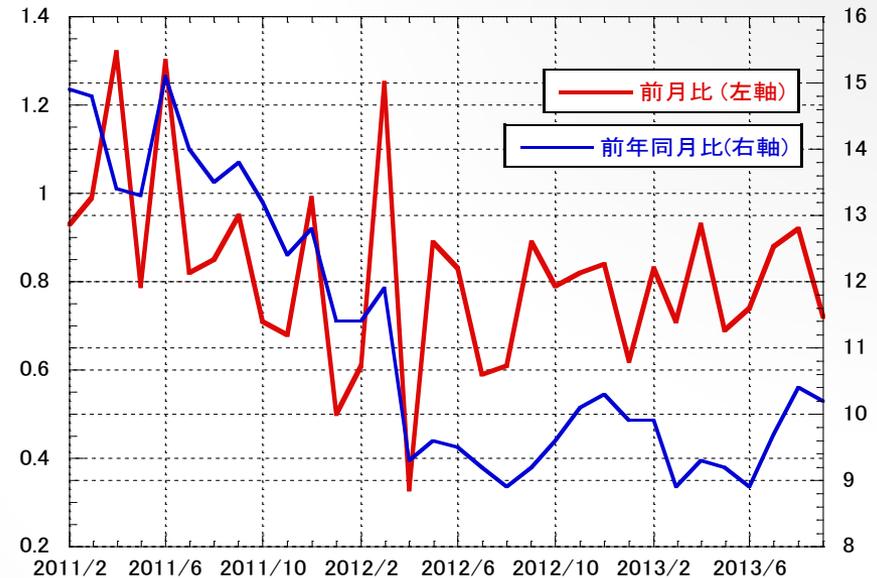
中国購買担当者景況指数(2013年9月まで:%)



出所：中国国家统计局;CEICデータベース

- 9月の製造業PMI(購買担当者景況指数:季節調整値)は51.1となり前月(51.0)とほぼ同水準。
- 生産指数と新規受注指数はそれぞれ52.9と52.8となり、いずれも前月(52.6, 52.4)よりやや上昇。
- さらに、9月の輸出新規受注指数は50.7となり、8月(50.2)より上昇し、引き続き回復している。
- また、9月の雇用指数は49.1となり、8月(49.3)より低下した。

工業生産動向(2013年9月まで:%)

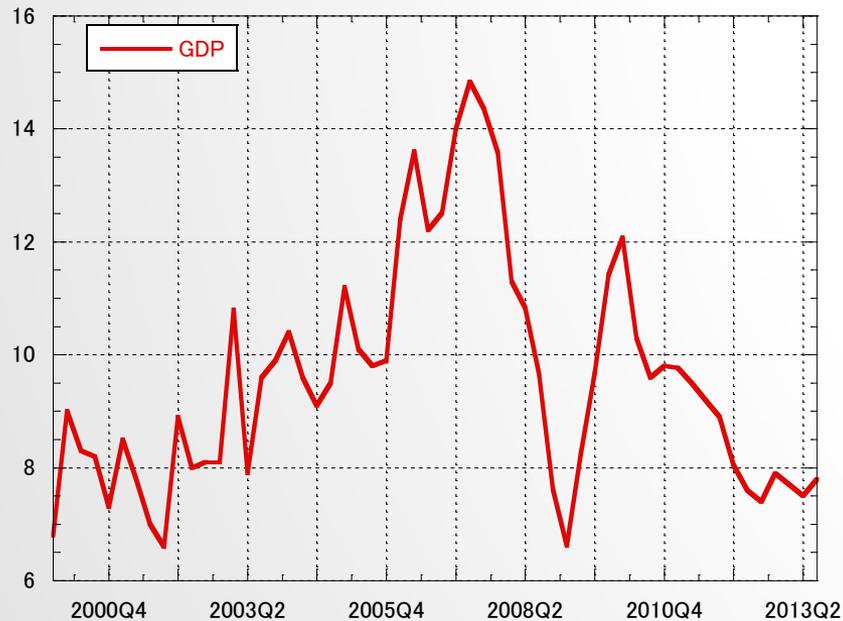


出所：中国国家统计局;CEICデータベース

- 9月の工業生産は前月比+0.7%となり、8月の同+0.9%から低下。前年同月比では+10.2%の伸びとなり、前月(+10.4%)より幾分減速した。
- 地域別に工業生産動向を見ると、東部(北京、天津、河北、遼寧、上海、江蘇、浙江、福建、山東、広東、海南)は前年同月比+9.2%(前月同+9.3%)、中部(山西、吉林、黒龍江、安徽、江西、河南、湖北、湖南)は同+11.7%(前月同+11.4%)、西部(内モンゴル、広西、重慶、四川、貴州、雲南、チベット、陝西、甘肅、青海、寧夏、新疆)は同+11.7%(前月同+12.9%)となり、東部と西部は8月より低下したが、中部はやや加速した。

～中国経済動向②～

実質GDP成長率 (2013年第3四半期まで; 前年度同期比:%)



出所：中国国家统计局; CEICデータベース

- 2013年7-9月期の実質GDP成長率は前年同期比+7.8%となり、4-6月期の同+7.5%と比べて幾分回復。そのうち、第一次産業の成長率は同+3.4%、第二次産業は同+7.8%、第三次産業は同+8.4%となっている。
- 寄与率からみると、1-9月期の(累積)実質GDP成長率(7.7%)のうち、資本形成は55.8%となり、最終消費は45.9%、純輸出入は-1.7%となっている。

求人求職倍率 (2013年第3四半期まで)



出所：中国労働市場情報観測センター; CEICデータベース

- 7-9月期の有効求人倍率は1.08になり、4-6月期よりやや上昇した。求人数と求職者数を見ると、求人数は前年同期比-2.5%と減少し、求職者数は同-7.3%と減少した(88主要都市ベース)。
- 地域別に見ると、東部の求人倍率は1.06、中部1.08、西部1.13となっている。西部の労働需給は相対的に逼迫している。